

企画提案書作成要領

1 企画提案書の様式

- (1) 企画提案書はA 4サイズ（ヨコ）、表紙・目次・中扉を除いて 50 枚以内で作成すること。
また、目次を記載し、ページ番号を記載すること。
- (2) 提案書には提案に係る責任者を記載すること。
- (3) フォントは自由とするが、企画提案書の本文記載は 10 ポイント以上の文字の大きさとする
こと（付属図表等に関する文字の大きさはこの限りではない。）。
- (4) 表紙には、表題として「SusHi Tech Tokyo 2026 企画・運営等業務委託」と記載すること。
- (5) 企画提案書本体のほかに、質疑応答時に使用するための補足説明用資料を別途提出することは妨げないが、補足説明用資料全体として 200 頁を超えないこと（表紙・目次・サマリー・中扉を除く）。
- (6) 電子データで提出すること。ファイル形式については、原則としてPDF形式としますがこれにより難しい場合、Microsoft Word、Microsoft Excel 又は Microsoft PowerPoint 形式でも可能とします。なお、データサイズ（容量）について、実行委員会のメール環境の制限上、受信が困難なサイズとなる際は、別途外部媒体等による持ち込みなど、応募者によって用意した手段によって行って下さい。

2 企画提案書の内容

- (1) 企画提案書は別添の仕様書に基づき、「3 審査のポイント」を踏まえた提案内容とすること。
- (2) 企画提案書には、「4 運営体制」に記載した表を含めてください。

3 審査のポイント(各小項目は0点から5点で採点され、倍率を掛け合わせたものを評価点とする。)

大	中	小項目	評価の視点	評価点	倍率
評価点合計				750	
基本事項				150	
	基本事項			150	
		提案に係る事業者体制の適切性・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで創る「SusHi Tech Tokyo」という大きな理念のもと、多様な関係者を巻き込んだ履行体制を提案しつつ、業務を進める中においても様々なプレイヤーと連携していくような提案内容となっていること ○本業務の履行に必要な最低限の体制が組まれていることはもちろん、本イベントの成功に結び付くことが強く期待される役割分担となっていること ○多様な主体がそれぞれの強みを活かし、本イベントの成功に向け協働しながら業務に臨む態勢となっていること ○代表事業者が本イベントの総括受託者として、全体企画を総覧し協働に係る各事業者との調整役となり十分な役割を担うことのできるものとなっていること 	50	10
		履行体制の充実・業務へのコミット	<ul style="list-style-type: none"> ○本イベントを成功に導くために、必要な人員量を適切に、かつ説得的に見込んでいるか ○本業務を遺漏なく円滑に進める上で必要となる、経験、調整能力、事務能力を十分に有するものが適切に配置されているか ○人員量、配置人員が本業務へ十分にコミットするものとなっており、それが実際に実現されるような提案となっているか。 	80	16
		本事業の受託に有用な実績の有無・内容	<ul style="list-style-type: none"> ○類似同種のイベントの実施実績など、本イベントの成功につながる有益な経験・実績を提案に係る事業体構成企業が有しているか 	10	2
		ロジ設計、飲食提供、安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ○VIPなどのロジ・アテンドを円滑に実施できる設計（誘導・動線）などが見込まれているか ○来場者に分かりやすいサインの導入などが提案されているか ○飲食物については、東京・日本の食やフードテックの魅力を伝えるものが提案されるとともに、来場者数を鑑みた販売数量が見込まれているか ○安全対策として、十分な体制が構築され、対策が取られているか 	10	2
ビジネスデイ				200	
	コンセプト、会場デザイン・レイアウトイメージ			25	
		コンセプト、会場デザイン・レイアウトイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ○江戸から続く東京の歴史や、都市の持続可能性・未来を議論する場であることを踏まえた魅力的なコンセプトが提案されているか ○過去の開催回を踏まえた視覚的・体験的に訴求力のあるデザインや、回遊性のあるレイアウトイメージの提案がなされているか ○商談件数の目標が達成できる、十分な商談スペースや個別に区切られた商談ブースなど、商談を促進する環境の構築が想定されているか ○音響に配慮したステージ配置を想定した提案となっているか ○来場者に分かりやすいサインの導入などが提案されているか 	25	5
	プログラム			70	
		魅力的なキーノート、セッションの組成に向けた仕掛け	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような人材をキーノートやセッションの登壇者として、企画を練り上げていけばよいか、説得的に提案されているか ○キーノートやセッション登壇者候補に対し、どのようなリレーションを有し、そのリレーションを活用して、STTへの参加に向けてどのように誘引していくのか、具体的な手法が提案されているか ○登壇者に対する謝金・渡航費・滞在費等について登壇者のグレードや影響力に応じた適切な水準での支払い基準の提案がなされているか 	20	4
		特別企画の魅力的な仕掛け	<ul style="list-style-type: none"> ○特に、重点テーマとしてどのような領域をフォーカスするのがよいか、グローバルな潮流を踏まえたテーマ候補案が提案されているか 	20	4
		誘客要素となるスタートアップの誘致	<ul style="list-style-type: none"> ○海外から注目を集める日本・東京の強みがある領域を説得的に提案し、その領域における優良なスタートアップを国内外から着実に本イベントに誘致していくための具体的手法が提案されているか 	20	4
		ピッチコンテストにかかる企画	<ul style="list-style-type: none"> ○グローバルレベルで遜色がなく、世界中から参加スタートアップを集めるピッチコンテストの企画が提案されているか ○グローバルな参加者を適切に審査できる体制が十分に構築されているか 	10	2
	ビジネスマッチング			75	
		ビジネスマッチング組成に向けた効果的仕掛け	<ul style="list-style-type: none"> ○領域別のネットワークイベント、クロステーマ商談会、ミートアップ等、多くの参加者を獲得し、ビジネスマッチングが活性化できるよう工夫を凝らした企画が提案されているか 	35	7
		件数・成果把握の網羅性	<ul style="list-style-type: none"> ○件数把握の網羅性を高めるため、過去の開催回での把握手法を抜本的に見直すような視点をベースとして企画を練り上げているか ○商談件数については、商談会場外で行われたものも含め、アプリや事後アンケート、ミートアップ会場におけるカウントなど、様々な方法を駆使し、全体の件数を漏れなく把握できる仕組みが提案されているか 	40	8
	集客			30	
		属性に応じた集客計画	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートアップ、大企業、行政機関（国・都市）、大学、VC/投資家、メディア、学生等、ターゲットに応じ、効果的な集客計画がなされているか 	10	2
		海外からの集客に向けた効果的な企画	<ul style="list-style-type: none"> ○海外からの参加者を幅広く呼び込むため、効果的な企画がなされているか 	20	4

大	中	小項目	評価の視点	評価点	倍率
パブリックデイ				150	
デザインコンセプト、会場レイアウトイメージ				20	
		デザインコンセプト、会場レイアウトイメージ	○SusHi Tech Tokyoの理念を踏まえつつも、子ども・若者など次世代の担い手たちの関心・意欲・楽しさを高めるようなデザインコンセプトになっているか ○ビジネステイの会場レイアウトを活かしつつ、効果的な動線の確保、コンテンツ配置を意識したパブリックデイならではの会場レイアウトイメージが提案されているか ○子どもを含めた来場者に分かりやすいサインの導入などが提案されているか	20	4
コンテンツ				110	
		幅広い世代への訴求力を有する魅力的コンテンツ	○子どもや若者などを含め、幅広い世代の人々に未来のテクノロジーを実感してもらうことを通じて、スタートアップやイノベーションへの受容性・関心を高めるような魅力的なコンテンツが提案されているか ○コンテンツの企画にあたっては、製品・サービスの展示・体験だけでなく、来場者の参加意欲を高める催しや有名人・インフルエンサーによるセッションなどの要素が盛り込まれているか	80	16
		コンテンツの提供にあたっての多様な主体との連携	○事業会社や大学、研究機関の他、アートや教育、環境・福祉、コンテンツなど、多様な主体との連携を見据えたコンテンツ企画となっているか ○特に協賛企業をパブリックデイに巻き込んでいくための具体的な手法が提案されているか	30	6
集客				20	
		集客すべきターゲットの絞り込み	○パブリックデイへの参加呼びかけを重点的に行うべきターゲットに関して、説得的な提案がされているか	10	2
		集客を実現する効果的な手法の提案	○ターゲットを効果的に呼びこみ、来場者数目標の達成に結びつくような手法が具体的に提案されているか	10	2
多様な主体との連携・協働				100	
パートナーシップ				25	
		協賛・海外都市との調整	○協賛企業を巻き込むために効果的なメニューの設計がなされているか ○オープンイノベーションの取組の発信など、効果的な提案がなされているか ○協賛企業に係る事務や出展調整など、必要なサポート体制が提案されているか ○海外都市との設置箇所調整、必要なサポート体制が提案されているか	10	2
		パートナーイベントの戦略	OSTTを契機としたビジネス交流の活性化に結び付けるため、パートナーイベントについて戦略的に連携先を掘り起こす仕掛けが提案されているか	15	3
スタートアップ協働				35	
		スタートアッププロダクトを積極活用したイベント運営	○独自性や新規性の高い技術、プロダクトサービスがイベントに積極的に組み込まれるために必要な提案がなされているか（例：飲食・カトラリー、多言語対応、人流計測など）	15	3
		本イベントを活用したスタートアップとの協働の機会の創出	OSTTをフィールドとして、スタートアップのアイデアやプロダクト実証を行うような、協働の機会の創出に向けた仕掛け・取組が提案されているか	20	4
エコシステムプレイヤーとの協働・連携				40	
		エコシステムプレイヤーと協働したイベント運営	○本イベントにおいて、どのような部分につき、エコシステムプレイヤーと協働した取組を行うのがよいのか、企画・論証されているか ○趣旨に合致する国内外のスタートアップイベントオーナーや大学などといったエコシステムプレイヤーと協働していくために、どのようにして企画案を募り、実現していくか、適切な手法が提案されているか	20	4
		エコシステムプレイヤーの独自企画とコラボレイトした取組の推進	○本イベントを活用して、様々なエコシステムプレイヤーと連携を深め、相乗効果により、相互のイベントの魅力を向上させるような具体的な仕掛けが提案されているか	20	4
情報発信・アプリ				100	
情報発信				50	
		魅力的でわかりやすいホームページの作成	○魅力的でわかりやすいユーザーフレンドリーなホームページのデザインイメージや構成案、過去回からの改善点に係る提案がされているか	25	5
		SNSなどを活用したプロモーション計画体制の構築	○海外も含めたPR業務の実務経験を有し、広報戦略立案・実行に携わった実績を有する者を責任者に配置し、他の関係者と綿密な調整業務が可能な体制が提案されているか ○効果的なプロモーションを推進していくために、媒体の特性に応じ、PR業務に精通するプレイヤーとの連携を盛り込んでいるか	25	5
本イベントにおける成果向上に資するアプリの企画・改修				50	
		本イベントにおける成果向上に資するアプリの企画・改修	○過去回におけるアプリのユーザーリティの分析を踏まえた改善点の提案がなされているか ○マッチングに資する機能及びより確実にマッチング件数を把握する機能の実装・充実についての企画が提案されているか ○UI/UXに優れたアプリを実現するために、計画的なユーザーテストの実施・その後の改修にかかるプロセスが盛り込まれているか	50	10
独自提案				50	
		独自提案		50	
		独自提案	○本イベントを成功に導き、事業効果を最大化するために、仕様書に指定されている項目以外の独自提案がなされているか。	50	10

4 運営体制

本業務を履行するにあたり、提案書には、実績・本提案における役割などについて、以下の表を記載してください。

氏名	経験年数、 職層	外国語学レベル	実績 (具体的リレーション等)	提案における役割	従事時間見込み (@内訳)
山田 太郎	6年経験 マネージャー	(英語) ビジネスレベル (中国語) 日常会話レベル	〇〇業務に従事 〇〇氏を過去にイベントへ 招聘した実績あり	統括責任者 専任にて業務を実施	900時間 @20時間×45週